

シジュウカラガン

Branta hutchinsii leucopareia (Brandt)
カモ目・カモ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠA類

選定理由

かつてアリューシャン列島及び千島列島で繁殖し、北米西海岸と日本に渡来してきたが、20世紀初頭には絶滅状態になった。国際的な回復事業により増加し、宮城県では飛来数が1,000羽を超えた。本県では断続的な飛来記録があり、今後の動向に注目する必要がある。

種の特徴

体長60cm、頭～首は黒く、頬と喉は白い。体の上面は黒褐色で淡色の横斑があり、首の付け根には白い輪がある。嘴と足は黒い。カナダガンと間違われるので注意を要する。本県では、坂井平野にマガンや亜種オオヒシクイの群れに混じて飛来する。

分布

日本に渡来する本亜種は世界で22,000羽(1995)、宮城県で590羽(2015)である。本県では、坂井平野で2002～2011年に断続的に1～3羽の記録がある。

生息を脅かす要因

本種はマガンの群れと行動を共にするため、マガンの渡来数が減少すれば、飛来する可能性が低くなる。マガンの渡来を継続させるためには、安心して効率的な採食が行える、広く連続した二番穂水田を確保するための対策が必要である。

参考文献 高野(2015)、呉地(2006)

| 市町別 生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|-------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | |

ツクシガモ

Tadorna tadorna (Linnaeus)
カモ目・カモ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

日本には冬鳥として九州の有明海に渡来していたが、近年は少数が西日本に分散して渡来する。本県では、稀な冬鳥として不定期に飛来するため、初版の県域絶滅危惧種Ⅰ類から今回は要注目に変更し、西日本への分布拡大も踏まえ今後の動向には注目していく。

種の特徴

全長62.5cmで、雄の頭部は緑色光沢のある黒で体は白い。肩羽と胸～腹を通る縦の線は黒く、胸側～背に回る線は栗色である。尾は白いが先端が黒く、風切羽は黒くて雨覆は白い。泥深い干潟の水路や湛水水田で、軟体動物、昆虫類、甲殻類等を食べる。

分布

日本には冬鳥として、九州北部、特に有明海に100～300羽の群れが渡来する。本県では、三方五湖や大堤等の湖沼、日野川、若狭町のふゆみずたんぼ等に飛来した記録がある。

生息を脅かす要因

本県の飛来地は、カモ類の多様性が高い湖沼や河川、ふゆみずたんぼであった。そのため、これらの自然環境を保全しカモ類の多様性を持続させることや、水鳥の生息環境を再生させるふゆみずたんぼの拡大が、本種の生息地を保全再生する上で重要と考えられる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会(1998)、福井県自然環境保全調査研究会(1999)、福井県(2002)、中村・中村(1995)、高野(2015)、大西・真木(2000)

| 市町別 生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|-------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | |

アカツクシガモ

Tadorna ferruginea (Pallas)
カモ目・カモ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

全国的に飛来数が少なく、国のレッドリストでは情報不足に選定されている。本県では1990年代以前に、造成途中の福井新港や北潟湖等に飛来した記録が6件、その後は、2003年2月に北潟湖で1件の記録があるに過ぎない。過去の飛来記録を考慮し、今後の動向に注目する必要がある。

種の特徴

全長が63.5cmもある大形のカモ類である。体は橙赤褐色で、頭部は色が淡く、雌では特に白っぽい。繁殖期の雄には黒い首輪がある。尾、嘴、足は黒い。浅く水につかる砂泥地で採餌し、雑食性である。

分布

冬鳥として少数が飛来し、本州中部以南に現れることが多い。本県では、造成途中の福井新港や北潟湖への飛来記録がある。

生息を脅かす要因

近年の本県での飛来記録の減少は、本種が好む塩分を含んだ浅い砂泥地がないからと推察される。また、足にテグスが絡まった個体の確認例もある。過去に複数の記録があった福井新港や北潟湖は、いずれも多様なカモ類の重要な越冬地であったことから、越冬環境の多様性の保全が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会(1998)、福井県自然環境保全調査研究会(1999)、福井県(2002)、中村・中村(1995)、高野(2015)、大西・真木(2000)

| 市町別 生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|-------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | ○ | | | | | | | ○ | | ○ | | | | ○ |